

The basic philosophy of management

## 経営の基本理念

当社は、お客様、社会、従業員に対する責任を  
果たしていくことを企業活動のベースとする  
「まごころの奉仕」を経営の基本理念としています。



撮影：(株)エスエス

## Contents

Top Message	2	社会との共生	61
朝日生命のあゆみ	6	医療の発展、青少年育成への取り組み	62
News & Topics	8	環境への取り組み	63
朝日生命のサステナビリティ経営	12	地域における社会貢献活動	65
前中期経営計画「TRY NEXT ～成長を実現し、 未来を創る～」の振り返り	14	社内募金、寄付講座	66
新中期経営計画 「Advance ～The road to 2030～」	15	ピンクリボン運動の推進	67
事業概況ハイライト	21	日本ユネスコ協会連盟への支援	68
2020年度決算の概要	22	従業員への責任	69
事業概況の推移	28	働き方改革に向けた取り組み	70
資産運用	29	ダイバーシティの推進	72
お客様満足の向上	31	健康経営の推進	74
より良いお客様サービスのために	32	経営体制	77
お申込みからお受取りまで	36	コーポレートガバナンス	78
2020年度の保険金・給付金のお支払い状況	39	総代会	79
お客様との接点	40	第74回 定時総代会の開催概要	81
個人向け商品	42	第74回 定時総代会質疑応答	82
企業・団体向け商品とサービス	48	評議員会	87
“生きる”を支える～介護保険普及に向けた 取り組み	51	ご契約者懇談会	88
デジタル推進の取り組み	54	取締役会、監査役会、指名・報酬委員会	89
新たな価値の提供に向けた取り組み	57	コンプライアンス(法令等遵守)への取り組み	90
		お客様情報の保護	91
		リスク管理体制	92
		役員・会計監査人	97

## 会社概要 (2021年3月末現在)

名称	朝日生命保険相互会社	創業	1888(明治21)年3月1日
〒	160-8570	総資産	5兆5,394億円
本社所在地	東京都新宿区四谷一丁目6番1号 YOTSUYA TOWER TEL 03-4214-3111	基金の総額	2,570億円(基金償却積立金を含む)
		営業拠点数	統括本部・統括支社・支社：58 営業所：575(2021年4月1日現在)
		従業員数	18,049名(職員：4,047名、営業職員：14,002名)

### 編集方針

朝日生命では、保険業法第111条に定められた「業務および財産の状況に関する事項」とともに、お客様に向けた朝日生命の取り組みを一冊にまとめ、「朝日生命の現状」として発行しています。掲載内容を補足する情報は、当社のホームページ(<https://www.asahi-life.co.jp/>)に公開しています。併せてご覧ください。

●報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日(取組内容については一部対象期間外の内容も掲載しています)

●発行時期 2021年7月



## Top Message

「人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、  
社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社」  
の実現を目指して



代表取締役社長

木村 博紀

平素より朝日生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は適切かつ透明度の高いディスクロージャーを目指し、その充実に努めています。その一環として、本冊子「朝日生命の現状2021」を作成しましたので、是非ともご高覧いただき、当社の経営状況へのご理解を深めていただければ幸いです。

当社は、「まごころの奉仕」を経営の基本理念とし、1888年の創業以来、多くのお客様からのご支援をいただくことで事業を発展させてまいりました。皆様の長きにわたるご支援に対し深く感謝いたします。

### 2020年度決算について

2020年度決算を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動自粛などの影響もありましたが、保険業績面では新契約年換算保険料は前年比100.7%、収支面では基礎利益は前年と比べ168億円増加する等、総じて良好な決算となりました。

### 前中期経営計画「TRY NEXT」の振り返り

また、前中期経営計画「TRY NEXT」(2018～2020年度)では、営業職員体制の拡充や代理店事業の成長により新契約業績は伸展し、保障性商品の保有契約年換算保険料の純増基調を保つとともに、資産運用収益の確保等による収益力向上を通じ、健全性指標や格付の向上を実現する等、大きな成果を上げることができました。今後もお客様と真摯に向き合う姿勢を大切に、この好循環を継続・加速させることを目指してまいります。(前中期経営計画の詳細は14ページ参照)

### 新中期経営計画 「Advance～The road to 2030～」

当社を取り巻く事業環境は、超高齢社会の進展や、急速なデジタル社会化、サステナブル(持続可能)な社会の実現に向けた動き等、今後も急速かつ大きな変化が想定されます。

生命保険会社である当社においては、事業活動そのものが社会的責任を果たす重要な活動であり、根幹となる「生命保険事業」や「資産運用」を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献することが当社の普遍的な使命であると認識しています。

とりわけ、超高齢社会の進展により医療費や介護負担が深刻な社会問題となるなか、当社の強みである医療・介護分野の商品・サービスの提供に加え、重症化予防をはじめとしたヘルスケア分野の価値提供等により、人生100年時代のお客様の自助努力を支え、健康長寿社会の課題解決に貢献することが重要であると考えて

います。

こうした認識のもと当社の2030年のありたい姿を「人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社」と定め、2030年に向けた成長の道筋を作る3カ年計画と位置づけた新中期経営計画「Advance～The road to 2030～」を策定しました。(新中期経営計画の詳細は15ページ参照)

新中期経営計画では、「第三分野<sup>\*1</sup>(商品・サービス)戦略」「チャンネル戦略」「資産運用戦略」の3つの戦略に取り組むとともに、3つの戦略を支える「DX戦略」「人財活躍推進戦略」を成長ドライバーとして推進することで、これまでの取組みの進化と新たな成長領域を生み出すことに挑戦します。

\*1 生命保険(第一分野)と損害保険(第二分野)の中間に位置する保険のことで、医療保険、がん保険、介護保険等を指します

### 第三分野(商品・サービス)戦略

#### ●医療保険・介護保険への注力

当社は2003年から、医療・介護等の第三分野商品への取組みを本格的に展開し、保険商品として初めてグッドデザイン賞を受賞した「あんしん介護」をはじめ、先進的な保険商品やサービスの開発・提供に取り組んでまいりました。2020年度は、4月に「軽度認知障害保障特約(返戻金なし型)」<sup>1)</sup>、10月にはインターネットでご加入手続きが行える「認知症介護一時金保険(返戻金なし型)D」<sup>2)</sup>を発売し、介護保険の商品ラインナップの充実を図っております。

新中期経営計画においても、引き続き、当社の強みである医療・生活習慣病、介護・認知症分野を中心に第三分野マーケットの取組



みに注力してまいります。とりわけ、深刻化する介護問題に対して、より幅広いニーズにお応えすることができる新たな商品やサービスの提供を通じて「介護保険といえば朝日生命」という存在感の発揮を目指してまいります。

#### ●ヘルスケア分野での新たな価値提供

超高齢社会の進展やIT技術の発展等を背景に、ニーズが高まっているヘルスケア分野においても、病気に対する早期治療のサポートや生活習慣病から介護状態への重症化予防等の当社独自の商品やサービスの提供を通じて、超高齢社会の社会保障制度を補完する役割を發揮してまいります。

### チャネル戦略

#### ●強固な営業職員体制の構築

当社のメインチャネルである営業職員チャネルについては、コロナ禍での非対面ニーズの急増に対応し、強みである「人ならではのコンサルティングなどの対面の価値」にデジタル技術を取り入れることにより、営業活動の進化を図ってまいります。

加えて、営業職員の育成体制の強化に取り組むことにより、強固な営業職員体制を構築してまいります。

#### ●マルチチャネル化の推進

個人マーケット向け代理店チャネルについては、新会社「なないろ生命保険株式会社」において、商品開発力の強化やチャネルの高度化に取り組み、朝日生命グループとしてマーケットシェアのさらなる拡大を目指します。また、急増するデジタル化ニーズに対応するため、インターネット上でのマーケティングや商品を提供するデジタルチャネルを確立し



てまいります。さらに、データ蓄積・分析・活用等をはじめとしたデータドリブンマーケティング<sup>※2</sup>を推進し、お客様ニーズに応じた最適な商品やサービスを提供してまいります。

※2 収集・分析したデータを活用してマーケティングのPDCAを実施する手法

#### ●海外事業の拡大

海外事業については、将来的な国内マーケットの縮小を見据え、海外でのビジネスモデル確立に向け、ベトナムの保険会社と提携し、医療保険等のテレマーケティングに関する保険販売ノウハウの提供や、インターネットを活用したビジネスモデルに係るコンサルティング事業を推進してまいりました。今後は、ベトナムで展開している保険ビジネスの拡大に加え、アジアを中心に事業展開の調査を進めてまいります。

### 資産運用戦略

グローバルに金利が低下し、一層厳しい投資環境の継続が見込まれるなか、持続的な資産運用収益の確保に向けて、投資対象資産の分散等を通じて、リスクを低減しつつ収益の確保を目指してまいります。また、ESG（環境・社会・ガバナンス）投融資の推進により、サステナブル

な社会の実現への貢献を通じ、投資リスク削減および新たな収益獲得機会を実現してまいります。さらには、2025年の経済価値ベースの規制導入を見据え、経済価値型ポートフォリオへの移行を進めてまいります。

### DX<sup>※3</sup>戦略

急速なデジタル化や多様化が一層進むお客様ニーズに対応するため、DXを推進し、お客様の体験価値向上という付加価値の提供に取り組んでまいります。お客様の体験価値向上に向けて、DXを推進するためのシステム基盤を変革し、チャネル、商品・サービス、業務運営の3つの革新に取り組んでまいります。

※3 デジタルトランスフォーメーションの略であり、デジタル技術やデータを活用して、新たな製品やサービスの提供等、お客様に対する価値を創出し、競争上の優位を確立すること

### 人財活躍推進戦略

すべての事業の根幹となる人財の活躍推進に向け、職員一人ひとりによる3つの行動指針「挑戦」「キャリア自律」「生産性・生産力向上」の実践を通じて、「挑戦し続ける人財づくり」「人財ポートフォリオの再構築」「働き方改革の浸透」に注力してまいります。

### サステナブルな社会の実現を目指して

当社は、事業活動そのものが企業としての社会的責任を果たす重要な活動であるとの考えのもと、経営の基本理念「まごころの奉仕」を踏まえ、「お客様満足の向上を最優先とした経営の実践」「ゆたかな社会づくりにかわり続けることによる社会との共生」「人が育つ職場づくり、働きやすい職場づくりを通じた従業員満足の向

上」に取り組んでおります。

そのなかで、当社の事業活動の根幹である「生命保険事業」では健康・長寿社会への貢献に向けた生命保険商品・サービスの提供を、「資産運用」ではESG（環境・社会・ガバナンス）投融資の推進を通じてグローバルな社会課題の解決に貢献してまいります。

あわせて、「脱炭素社会」に向けた環境への取り組み、「社会貢献活動」「働き方改革」「健康経営」「人権啓発」等への取り組みを推進することにより、SDGsの17すべての目標の達成に貢献できるよう努めてまいります。

こうした取り組みを、新中期経営計画のもと策定したサステナビリティ経営方針として、積極的に展開することにより、企業価値の向上とともに、サステナブルな社会の実現に貢献し、共に発展していく会社を目指してまいります。

### 最後に

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、当社では、ご契約に関する特別取扱いをはじめ、「新しい生活様式」におけるお客様利便性向上に向け、生命保険ご提案時のオンライン面談や生命保険お申込み手続き時の「Web申込」などの取扱いも行っております。今後も、お客様および職員の健康・安全への配慮を最優先とし、お客様に安心をお届けできるよう、柔軟な対応を行ってまいりますので、より一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



## 1888年

「帝国生命保険会社」創業  
福原有信（資生堂創業者）や元海軍主計大尉 加唐為重などが中心となり会社を創業



創業当時の檜物町（ひもんちょう）本社

1900

明治 大正 昭和

## 1947年7月1日

「朝日生命保険相互会社」創立  
社名を「帝国生命」から「朝日生命」へ変更



## 1948年

「団体月払保険」の取扱い開始  
業界に先駆け毎月給与から保険料を引き去る制度を導入

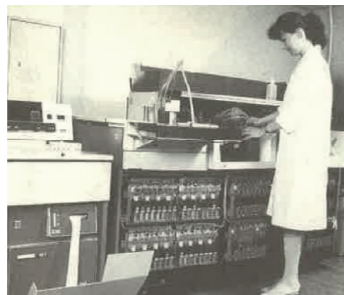
## 1949年

家庭月払保険の発売を開始  
一般のお客様宅を訪問し、保険料を毎月集金する形式の保険を発売



## 1960年

財団法人 朝日生命成人病研究所を設立  
成人病の予防・早期発見の研究を目的とし設立



## 1974年

朝日生命体操クラブを創設  
現在塚原直也氏が総監督を務め、これまでに国内外の競技大会で活躍する選手を多数輩出



## 1977年

朝日生命体操教室を開設  
地域に密着した体操の普及を通じて、少年少女の健全なる育成を図ることを目的に創設



## 1988年

創業 100 周年  
両国国技館にて記念式典を開催



## 2001年

画期的な保険システム「保険王」を発売  
ライフステージやニーズの変化に応じた保障を自由に組み合わせることが可能



2000

## 2013年

「あんしん介護」がグッドデザイン賞受賞  
シンプルでわかりやすい商品内容などが評価され保険商品として初めて受賞



## 2018年

創業 130 周年  
まごころ、ずっと、未来へ



## 2018年

東京大学と共同研究開始  
医療ビッグデータの解析やICT活用を通じた生活習慣病の予防と重症化防止に向けた共同研究を開始



## 2019年

DeNA と業務提携  
ヘルスケア型保険商品と健康増進支援サービス「kencom」の共同開発を開始



## 2019年

仏国の大手資産運用会社と関係強化  
仏国の大手資産運用会社ナティクス・インベストメント・マネージャーズ社と運用面での関係強化に合意



## 2021年

なないろ生命を開業

保険ショップなどの乗合代理店、ダイレクトマーケティングを通じて医療保険など第三分野の商品を提供する「なないろ生命保険株式会社」を4月に開業



2020

## 2020年

ASAHI DIGITAL INNOVATION LAB を設置  
デジタル技術の活用による新たなビジネスモデル創出を目的とした研究拠点の設置



## 朝日生命グループの概要

朝日生命グループとして生命保険事業では、お客様のニーズ変化・多様化に対応するべく「マルチチャネル化」戦略を推進しています。これらの取組みを通じて、グループ各社間でのシナジー創出、事業の拡大・多様化を図るとともに、朝日生命グループとして成長していきます。

生命保険事業

生命保険／なないろ生命保険株式会社



2021年4月に開業し、2021年10月より生命保険販売の開始を予定しております。主に乗合代理店、ダイレクトマーケティング等を通じて、医療保険などの第三分野商品の提供により多様化するお客様ニーズに的確かつ機動的に対応してまいります。

保険代理店／NHS インシュアランスグループ株式会社



保険代理店である「株式会社NHS」、「株式会社創企社」、「株式会社FEA」、「ライフナビパートナーズ株式会社」の4社を傘下に持つ持株会社であり、テレマーケティングおよび訪問販売を通じて、複数社の保険商品から、お客様一人ひとりのニーズに応じた最適な保障を提案しております。

保険ショップ／株式会社 F.L.P



「保険相談サロンFLP」のブランドで、首都圏を中心に20店舗以上の保険ショップをチェーン展開している乗合代理店であり、ご来店いただいたお客様に対し、複数社の保険商品から、お客様一人ひとりのニーズに応じた最適な保障を提案しております。

※上記以外のグループ会社等は当社HP「関連企業一覧」をご参照ください。



## 2020年8月

## ■生命保険商品ご提案時の「オンライン面談」取扱開始

新型コロナウイルス感染症の拡大防止、および「新しい生活様式」におけるお客様の利便性向上の観点から、ご提案書説明時の「オンライン面談」のお取扱いを開始しました。

新型コロナウイルス感染症拡大によって、医療保障等への加入に関するお客様ニーズが高まっています。そのような中、感染リスク軽減のため、非対面での説明を希望するお客様のご意向にお応えすることで、より多くのお客様に生命保険加入を検討いただく機会を提供していきます。

## 2020年9月

## ■神奈川県との「未病改善の推進等に関する連携協定」の締結

当社は神奈川県と県民の健康寿命の延伸を図り、誰もがいきいきと暮らせる社会の実現に向け、未病対策の推進に相互に連携・協力して取り組むため、「未病改善の推進等に関する連携協定」を締結しました。



## 2020年10月

## ■「引受基準緩和型手術サポート特約(返戻金なし型)」「引受基準緩和型通院保障特約(返戻金なし型)」の発売

健康に不安がある方でもお申込みいただきやすい商品として、2012年10月より「かなえる医療保険」を、2014年10月より「かなえる終身保険」「かなえる定期保険」を販売し、大変ご好評をいただいています。2つの特約の発売により、入院中の手術、放射線治療や退院後の通院に対して、さらに手厚い保障を提供します。

## 2020年10月

## ■インターネット専用保険「認知症介護一時金保険(返戻金なし型)D」「生活習慣病一時金保険(返戻金なし型)D」の発売

「新しい生活様式」におけるお客様の利便性向上に向け、インターネットで加入手続きができる保険を発売しました。

「認知症介護一時金保険(返戻金なし型)D」は、インターネットで加入手続きができ、お子さまを契約者・親御さまを被保険者(契約者と被保険者を別人)に指定できる生命保険業界初<sup>※</sup>の保険です。

「生活習慣病一時金保険(返戻金なし型)D」は、がん保障の有無が選択できる生活習慣病保険で、ご加入状況や不安に思う病気に合わせて保障をご準備いただけます。

※(一社)生命保険協会加盟42社が取扱う個人保険商品を対象に当社調べ(2020年8月末時点)

## 2020年10月

## ■ナティクス・インベストメント・マネージャーズ社傘下のミローバ社が運用するサステナブル株式ファンドへの投資

ESG投融資の一環として、2020年10月にミローバ社が運用し、朝日ライフアセットマネジメント株式会社が設定する「ミローバ・グローバル・サステナブル株式ファンド」への投資を行いました。

本ファンドは、日本を除く世界の株式の中から、ESG課題への取組みを通じて成長機会が得られる確信度の高い銘柄に集中投資することにより、ベンチマークを上回る運用成果を目指すとともに、地球温暖化を2℃未満に抑えるというパリ協定のシナリオに沿って温室効果ガス排出量の削減に資するポートフォリオの構築を目指すものです。

## 2020年12月

## ■ナティクス銀行との共同融資とインフラストラクチャー・デット・ファンドへの投資

ESG投融資の一環として、ナティクス銀行との海外インフラ事業への「共同融資」およびナティクス・インベストメント・マネージャーズ・インターナショナル社が運用する「グリーン・イールド・インフラデット・ファンド」への投資を開始しました。

「共同融資」は、主に気候温暖化を抑制できるインフラ関連のプロジェクトへの融資を共同で行うものであり、環境負荷軽減に資するESG投融資において強みを持つナティクス銀行の知見を活かした取組みです。

また、「グリーン・イールド・インフラデット・ファンド」は、ナティクス銀行を含む欧米の主要な銀行等がアレンジする海外のプロジェクトファイナンスを投資対象としています。なお、組入れ資産の75%以上をグリーン資産に投資する計画であり、フランス政府から環境負荷軽減に貢献するファンドを対象とする「グリーンフィンラベル」を取得しています。





## 2021年1月

### ■NHSインシュアランスグループ株式会社の 株式取得・子会社化

当社は、NHSインシュアランスグループ株式会社の全株式を取得し子会社化しました。同社は、保険代理店である「株式会社NHS」、「株式会社創企社」、「株式会社FEA」、「ライフナビパートナーズ株式会社」の4社を傘下に持つ持株会社であり、テレマーケティングおよび訪問販売を通じて、複数社の保険商品からお客様一人ひとりのニーズに応じた最適な保障を提案しております。

同社の子会社化により、当社は代理店チャネルへの取組強化を図るだけでなく、同社のビジネスモデル・ノウハウを導入・活用していくことにより、非対面と対面を柔軟に組み合わせて、新たなスタイルの営業モデル構築に取り組んでいきます。

## 2021年1月

### ■オリコン顧客満足度®調査 認知症保険商品 ランキング 総合1位を獲得

「2021年 オリコン顧客満足度®調査 認知症保険商品ランキング」において、当社商品「あんしん介護 認知症保険」が「認知症保険商品ランキング 総合1位」を獲得しました。本ランキングでは、ファイナンシャルプランナー（FP）30名が、「保険料」、「商品内容の充実度」、「保障内容の独自性」の3項目について評価を行い、総合1位に選ばれたものです。

今後もお客様から選ばれる先進的な保険商品・サービスの開発に努めてまいります。



2021年 オリコン顧客満足度®調査  
認知症保険商品ランキング 総合1位

## 2021年4月

### ■「保険契約者代理特約」の発売

契約者が意思表示できなくなったときに、あらかじめ指定された契約者代理人が、代わりに契約に関する手続きを行うことができる「保険契約者代理特約」を発売しました。

すでに提供している「指定代理請求特約」と「ご契約内容ご家族説明制度」とあわせて「ご家族あんしんパック」として新たに提供し、ご契約後もお客様にあんしんをお届けします。

## 新型コロナウイルス感染症に対する取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受けられたお客様や地域社会の皆様のお役に立てるよう、保険金・給付金の柔軟なお支払いや各種お手続きの対応、また、医療従事者への支援等を行っています。

### 1 保険金・給付金のお支払いに関する対応

- 請求書類の一部の省略、代替書類による請求書等のお取扱い
- 入院による治療が必要であったにもかかわらず、病院または診療所にご入院できない場合に、入院給付金のお支払対象とするお取扱い（みなし入院扱い）
- 新型コロナウイルス感染症を災害保険金等のお支払い対象とする約款変更（一部商品を除く）

### 2 ご契約の継続、経済的負担の軽減に向けた対応

- 保険料払込猶予期間の延長
  - 契約者貸付の利息免除等の特別取扱いの実施
  - ご融資先の法人のお客様を対象としたご返済条件の変更等
- ※ご契約のお取扱いに関する最新のご案内は、当社ホームページよりご確認ください。

### 3 感染拡大防止に関する対応

- 各種お手続きの郵送対応の拡大
- お申込手続き時のオンライン面談・Web申込の取扱い開始

### 4 医療従事者への支援等

#### ■社内募金（「朝日の月」募金）の実施

毎年、全役職員等により実施している「朝日の月」募金では、新型コロナウイルス感染症対策に尽力する医療関係等を支援する団体に対しても寄付を実施いたしました。寄付金は病院等での医療支援や医療・福祉施設等への物資支援など、新型コロナウイルス感染症対策に役立てられています。



#### ■アジア開発銀行が発行する「ヘルス・ボンド」への投資

ESG 投資の一環として、開発途上加盟国における全般的な保険・医療サービス支援に加え、新型コロナウイルスに係る保険・医療関連支援にも充当される「ヘルス・ボンド」への投資を行いました。



# 朝日生命のサステナビリティ経営

当社は、事業活動そのものが企業としての社会的責任を果たすための根拠をなす重要な活動であるとの考えのもと、「まごころの奉仕」を経営の基本理念として掲げています。その理念のもと、各ステークホルダーに対しては「お客様満足」の向上を最優先とした経営の実践、「ゆたかな社会づくりにかかわり続けることによる社会との共生」「人が育つ職場づくり、働きやすい職場づくりを通じた従業員満足」を基軸(重要項目)とした、サステナビリティ経営を推進しています。

こうしたサステナビリティ経営の実践を通じて、本業である「生命保険事業」および「資産運用」の両面において、サステナブル(持続可能)な社会の実現に貢献してまいります。

## 朝日生命のサステナビリティ経営とSDGsとの関わり

2015年9月に国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標と169のターゲットが掲げられました。その目標は当社が2030年に目指すべき姿であり、新中期経営計画「Advance～The road to 2030～」で掲げた計画への取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を行っています。



朝日生命は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

### 経営の基本理念「まごころの奉仕」のもと実践するサステナビリティ経営

#### お客様

お客様満足向上を最優先とした経営の実践



#### 社会

ゆたかな社会づくりにかかわり続けることによる社会との共生



#### 従業員

人が育つ環境づくり、働きやすい職場づくりを通じた従業員満足向上



創業以来、133年にわたり生命保険事業を通じて社会の要請に応え続けてきた実績

#### 深刻化する社会課題

- 超高齢社会の進展
- 新たな感染症の拡大
- 気候変動の影響増大
- 貧困・格差拡大

#### 急激な環境変化

- デジタル化の進展
- 就労意識変化
- 新たな生活様式への移行

生命保険事業を通じて社会課題の解決に貢献するためサステナビリティ経営を推進

### 新中期経営計画「Advance～The road to 2030～」

健康・長寿社会への貢献に向けた生命保険商品・サービスの提供(医療・介護保障、ヘルスケア分野)

ESG投資の推進(健康医療、気候変動分野)

お客様の健康、地域医療・福祉への貢献

気候変動対策を中心とした環境への取り組み(TCFD提言への対応、カーボンニュートラルに向けた取り組み、朝日生命エコプロジェクトの推進)

地域社会貢献活動、ピンクリボン運動、日本ユネスコ協会連盟への支援

働き方改革の浸透ダイバーシティ、人権への対応健康経営の推進

### 貢献する主なSDGs



2030年

企業価値の向上とともに、サステナブルな社会の実現に貢献し、共に発展していく会社

### <事業を支える経営基盤>

コーポレートガバナンス、リスク管理、コンプライアンスの各体制徹底による公正な経営体制

#### 外部イニシアティブへの参加



2019年4月、国連責任投資原則(PRI)に署名。持続可能な社会の実現を目的として、機関投資家に対し、ESG(環境、社会、ガバナンス)の課題を、投資の意思決定プロセスに組み込むことを提唱する原則。



2019年6月、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言へ賛同。気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し開示することを目的とした自主的な情報開示のあり方に関する提言。

#### 社外からの評価



介護への不安に対して、あんしんをお届けしたいという「あんしん介護」の商品コンセプトが高く評価され「2013年度グッドデザイン賞」を受賞。



2021年1月、「2021年オリコン顧客満足度®調査 認知症保険商品ランキング」において、当社商品「あんしん介護認知症保険」が「認知症保険商品ランキング総合1位」を獲得。



2021年2月、「ウーマンエンパワーワード2020」において、「従業員数1,000名以上の部」大賞を受賞。



2021年3月、経済産業省および日本健康会議が主催する「健康経営優良法人～ホワイト500～」に3年連続で認定。



2021年3月、経済産業省が定めるDX認定制度における「DX認定事業者」に認定。



# 前中期経営計画「TRY NEXT～成長を実現し、未来を創る～」の振り返り

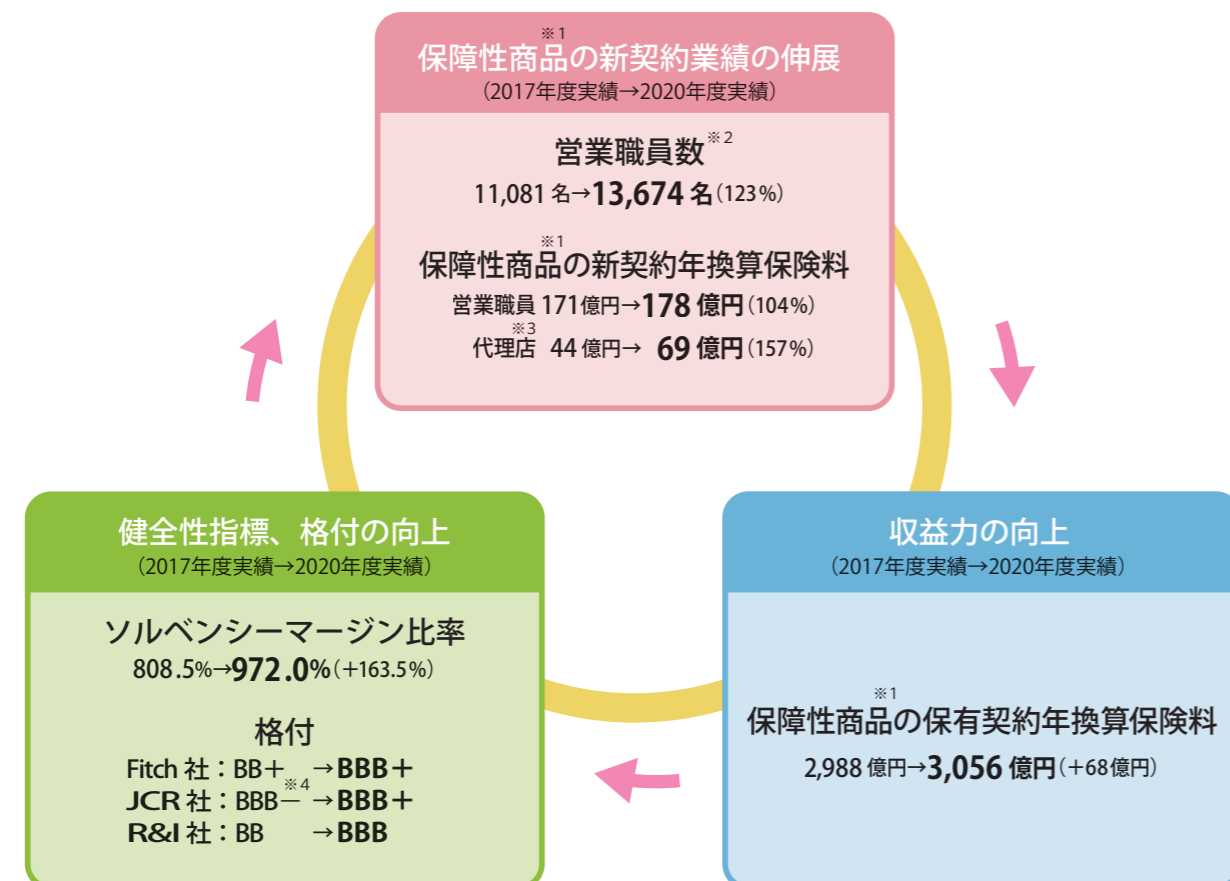
経営者向け保険の販売減少の影響等により、経営戦略目標の達成状況は一部未達であるものの、全体として目指した方向への前進を果たしました。

## ■経営戦略目標の達成状況

		2018年度始 中期経営計画スタート時	2018年度末	2019年度末	2020年度末 (中期経営計画終了時)	2020年度末 目標
お客様数	個人のお客様数	251.8万名	253.6万名	256.2万名	260.2万名	258.0万名
	企業のお客様数	3.9万社	4.2万社	4.1万社	4.1万社	4.3万社
保障商品保有契約 (年換算保険料)		3,212億円	3,397億円	3,399億円	3,407億円	3,470億円
うち個人保険※		2,732億円	2,740億円	2,772億円	2,809億円	2,830億円
介護保険	新契約件数	—	10.0万件	10.1万件	9.9万件	9.8万件

※経営戦略目標における個人保険とは、保障商品のうち、営業職員が個人のお客様に販売した保険と個人マーケット向け代理店が販売した保険の合計です。

営業職員陣容の拡充、代理店事業の成長による保障商品の新契約業績伸展により保障商品保有契約の純増基調を保つとともに、資産運用収益を確保することにより健全性指標・格付の向上につなげることができました。



※1 経営者向け保険のグランドステージ・プライムステージを除く  
 ※2 嘱託職員等を除く  
 ※3 保険ショップ、プロ代理店、テレマーケティング、銀行窓販等  
 ※4 JCR社は2018年12月の格付

# 新中期経営計画「Advance～The road to 2030～」

当社は、2021年度から2023年度の3カ年の新中期経営計画「Advance～The road to 2030～」を策定しました。

## 2030年を見据えた新中期経営計画の策定

新中期経営計画は、2030年の事業環境を踏まえ、10年後にどのような会社でありたいかを明確にしたうえで、策定しました。

2030年に向け、サステナブル(持続可能)な社会の実現が求められる中、生命保険会社である当社においては、事業活動そのものが、社会的責任を果たす重要な活動との考えのもと、生命保険事業や、資産運用を通じて、貢献していきます。

とりわけ、超高齢社会の進展により医療費や介護負担が深刻な社会問題となる中、当社の強みである医療・介護保障分野の商品・サービスの提供に加え、重症化予防を始めとしたヘルスケア分野における価値提供により、人生100年時代のお客様の自助努力を支え、健康長寿社会の課題解決に貢献していきます。

こうした認識に基づき、当社が目指す2030年のありたい姿を以下の通り策定しました。

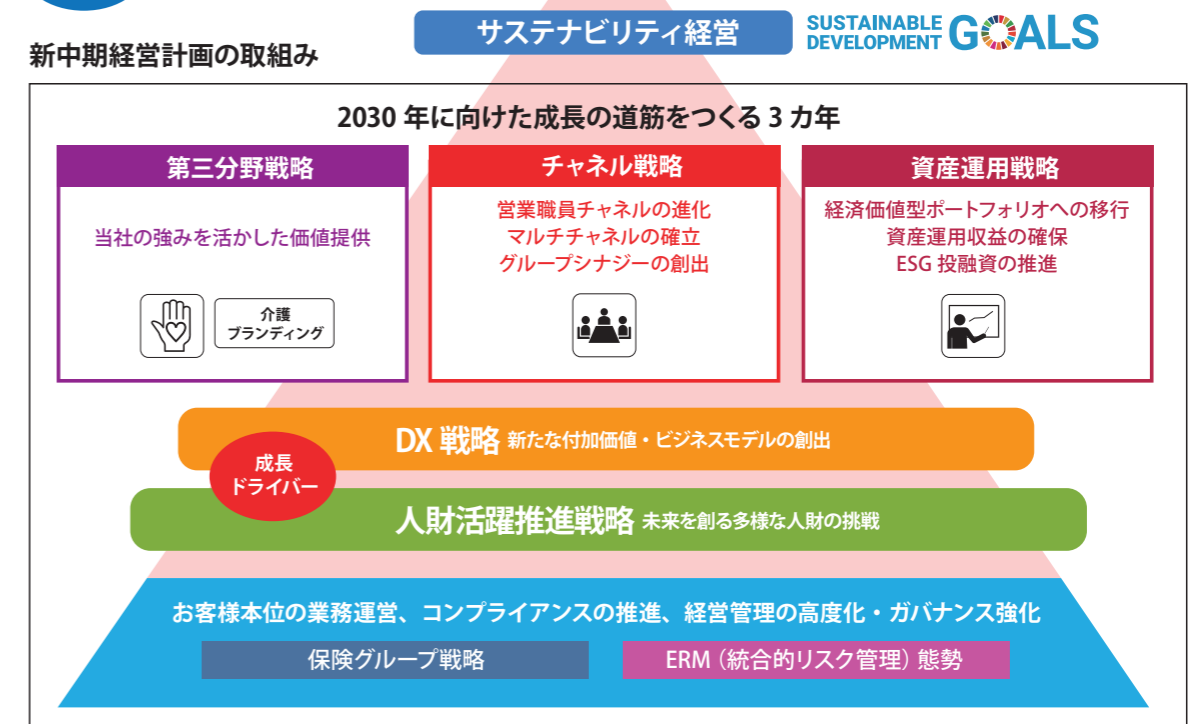
## 2030年の当社のありたい姿

「人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社」

企業ビジョン 一人ひとりの“生きる”を支える

2030年の  
当社の  
ありたい姿

人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社





# 新中期経営計画の取組み

新中期経営計画は2030年に向けた成長の道筋をつくる3カ年という位置づけになります。

## 第三分野戦略

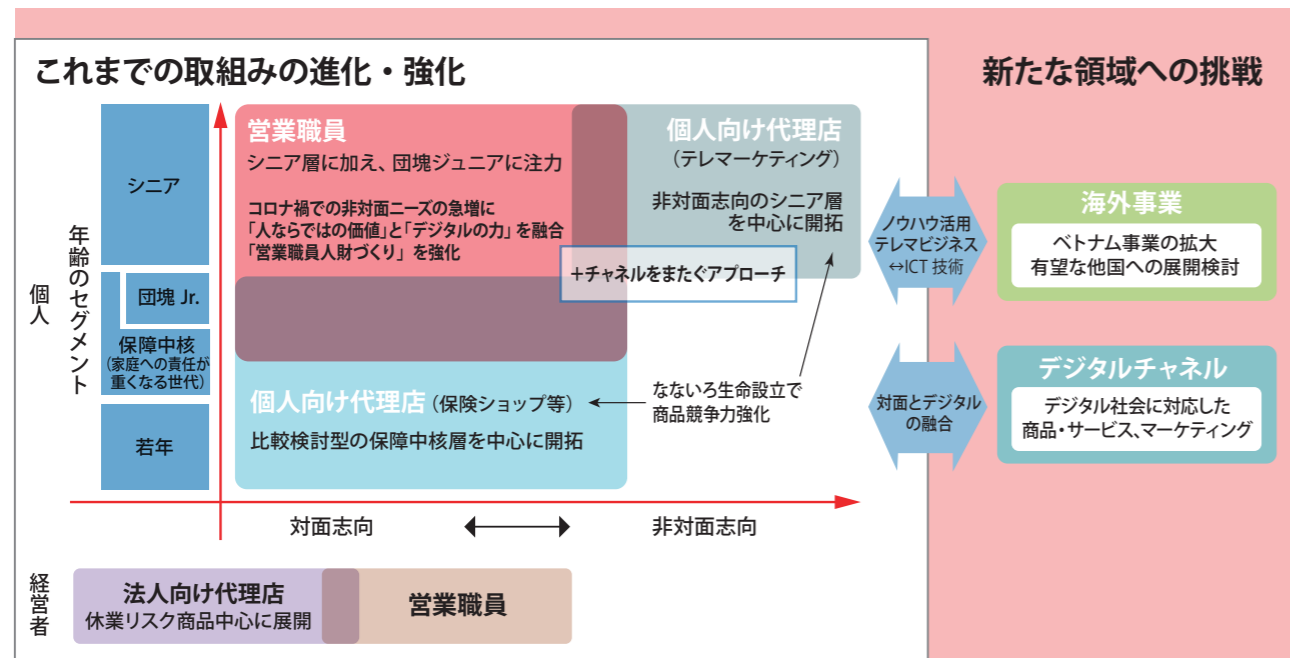
- 引き続き高いニーズの第三分野マーケットにおいて、当社の強みである価値(医療、生活習慣病、介護・認知症)を進化させます。  
とりわけ、深刻化する介護問題に対し、新たな商品・サービスの提供により、「介護保険といえば朝日生命」という存在感の発揮を目指します。また、各メディアを通じた介護分野の情報提供等により、多くのお客様の理解や認知促進につなげ、介護保険の加入機会拡大を図ります。
- 生活習慣病や介護からの回復・重症化予防等の当社独自のヘルスケアの取組み、予防・早期発見に対応した価値の提供により、超高齢社会の社会保障制度を補完する役割を發揮します。
- より幅広いニーズにお応えできる介護保障や、病気に対する早期治療のサポート、生活習慣病から介護状態への重症化予防等の新たな商品・サービスを提供します。
- 自社の取組みにとどまらず、外部企業との協業を通じ、先進的商品・サービスの提供に向けたデータの蓄積・分析を高度化します。

### 提供価値



## チャネル戦略

- 今後も当社のメインチャネルである営業職員チャネルについて、時代のニーズに合わせて進化させるとともに、「なないる生命」においても商品開発力を強化、チャネルを高度化し、チャネル間連携により、朝日生命グループとしてのマーケットニーズへの対応力を向上させます。
- 急速なデジタル化ニーズに対応するデジタルチャネルを確立するとともに、将来的な国内マーケットの縮小を見据え、成長する東南アジアマーケットにおける海外事業を拡大展開します。
- データ蓄積・分析・活用等をはじめとしたデータドリブンマーケティング\*の推進による各チャネルの高度化を図ります。  
\*データを収集・分析したものを活用してマーケティングのPDCAを回す手法



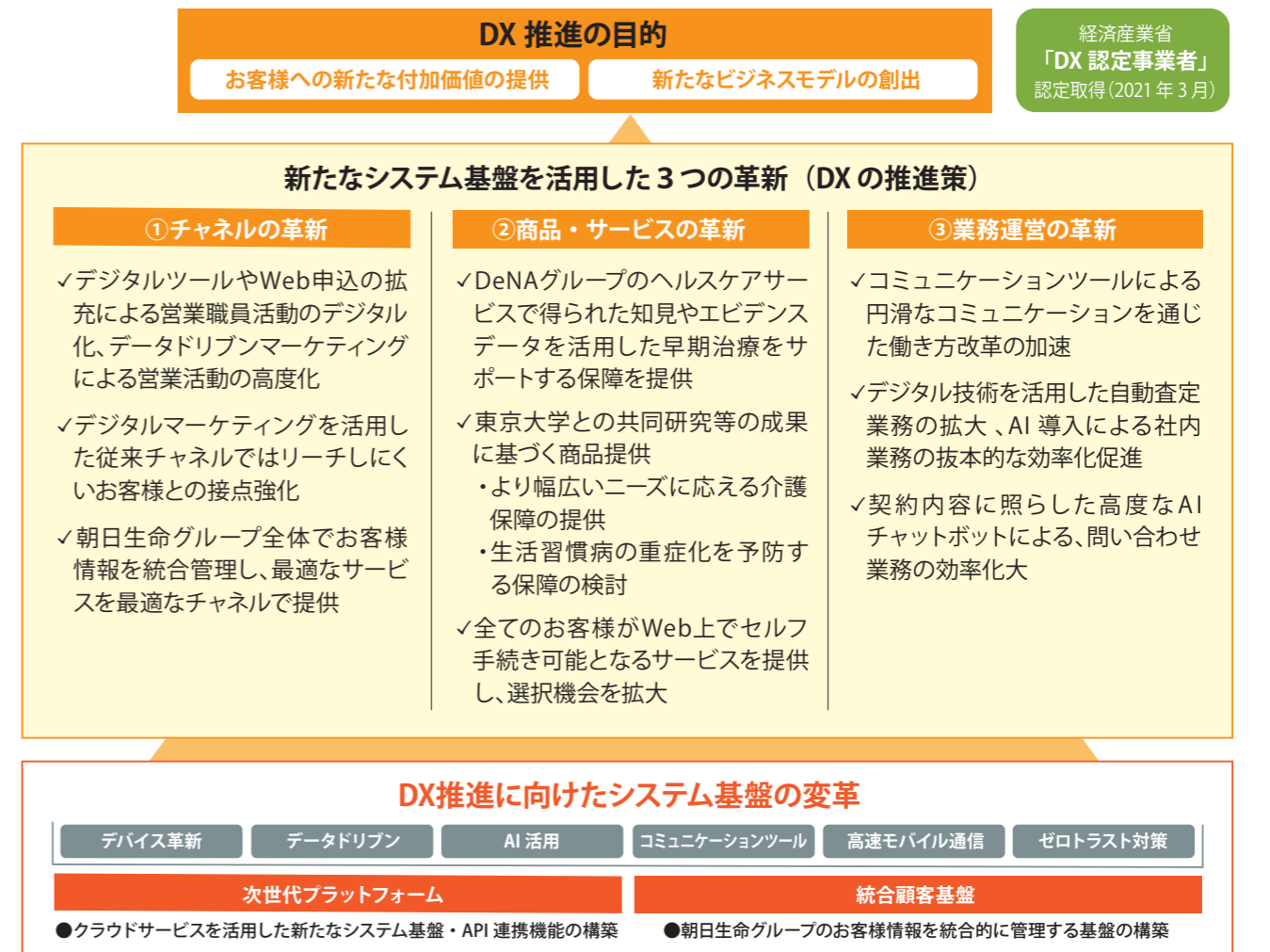
## 資産運用戦略

- 2025年の経済価値ベースの規制導入を見据え、経済価値型ポートフォリオへの移行を行います。  
負債を含めたリスク量(金利リスクおよびその他市場関連リスク)を抑制しつつ、サープラスを最大化するためのポートフォリオ運用を目指します。
- グローバルに金利が低下し一層厳しい投資環境の継続が見込まれる中、持続的な資産運用収益の確保に向けて、適切なリスク分散を行います。投資対象資産の分散を通じ、リスクを低減しつつリターン獲得を目指します。
- ESG投資の推進により、持続可能な社会の実現への貢献を通じ、投資リスク削減および新たな収益獲得機会を実現します。



## DX戦略

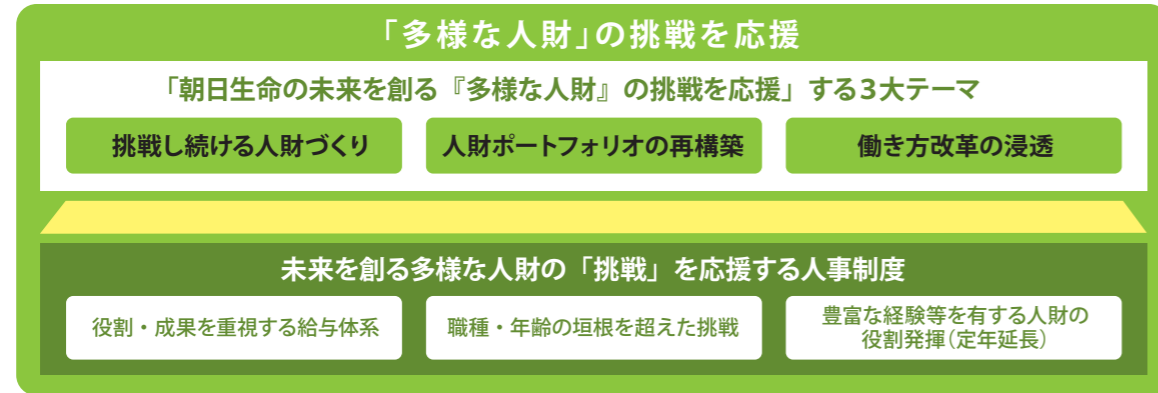
- 急速なデジタル化や多様化が一層進むお客様ニーズに応じていくため、DX推進に取組み、お客様の体験価値向上という付加価値を提供します。





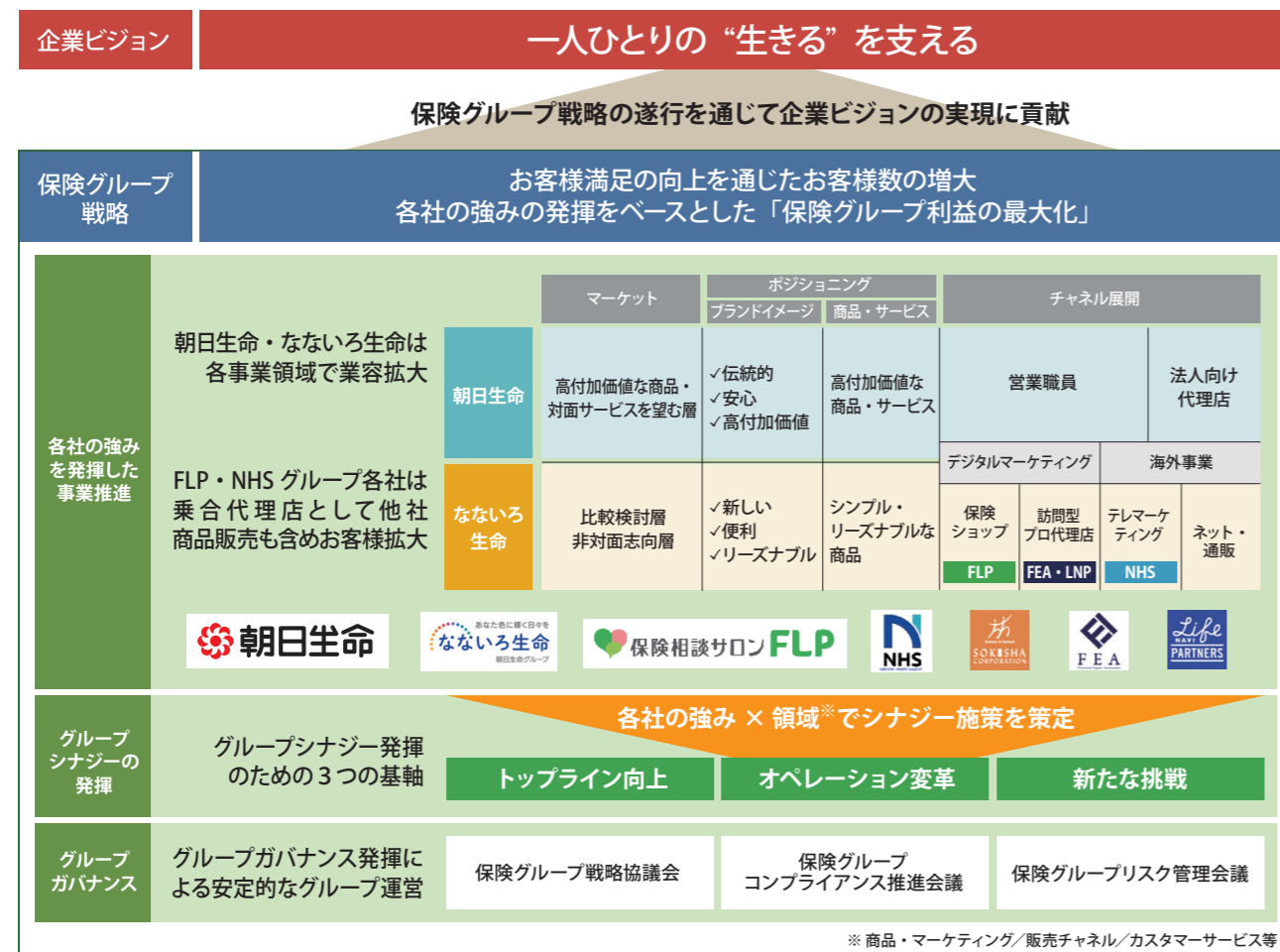
## 人財活躍推進戦略

- 「朝日生命の未来を創る『多様な人財』の挑戦を応援」というコンセプトのもと、職員一人ひとりによる3つの行動指針「挑戦」「キャリア自律」「生産性・生産力向上」の実践を通じて、「挑戦し続ける人財づくり」「人財ポートフォリオの再構築」「働き方改革の浸透」の3大テーマに注力します。
- 制度面では、役割と成果を重視した「人事制度改正(2021年度始)」により、人財の挑戦意欲を向上します。加えて、「定年延長(2021年度末)」により、グランドジェネレーションの豊富な経験・知識を発揮する活躍機会を拡大し、多様な人財が挑戦する環境を整備します。



## 保険グループ戦略

- 企業ビジョンの実現に向け、「お客様満足の上を通じたお客様数の増大」を掲げ、各社の強みを発揮する保険グループ戦略を遂行します。



## ERM (統合的リスク管理) 態勢

- 朝日生命グループ全体でリスク・リターン・資本を経済価値ベースで包括的に管理する ERM 態勢の構築を目指します。
- 経済価値ベース・現行会計ベースの両面における健全性・収益性を確保します。
- 健全性確保に向けては、安定的な ESR 水準の確保のため、経済価値ベースのリスクリミット管理の本格展開を行います。
- 収益性確保に向けては、リスク・リターン効率を踏まえた収益獲得のため、新契約価値と業績指標の連動性の向上や商品収益基準の設定、経済価値ベースでの運用収益検証を行います。

